

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書 P 50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目						特別支援学校の保護者	
					保護者		児童・生徒					
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級		⑤教員
基本情報		1	★在籍学年	単一回答	お子さんが在籍している学年をお答えください。（1つ選ぶ） 1. 小学1年生 2. 小学2年生 3. 小学3年生 4. 小学4年生 5. 小学5年生 6. 小学6年生 7. 中学1年生 8. 中学2年生 9. 中学3年生							
		2	★子どもが各学級・教室で指導を受けていることで、良かったと感じているところ	複数回答	お子さんが、【特別支援学級／特別支援教室及び難聴・言語障がい通級指導学級】で指導を受けていることで、良かったと感じているところは何ですか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. お子さんが自信をもって、楽しく学校に行くようになった 2. お子さんの特性にあった指導を受け、成長している 3. 将来の進路に向けて、準備をすることができる 4. その他（ ） 5. 特にない							
		3	★各学級・教室についての満足度	単一回答	特別支援学級について、どの程度満足していますか。（それぞれについて1つ選ぶ） 表形式 < 1. 満足している／2. どちらかといえば満足している／3. どちらかといえば満足していない／4. 満足していない > ①お子さんへの個別の指導 ②小集団（グループ）での指導 ③お子さんの成長が見られるようになった ④教員が指導内容を具体的に教えてくれたり、家庭でできることを教えてくれる ※合理的配慮：障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）	特別支援教室及び難聴・言語障がい通級指導学級について、どの程度満足していますか。（それぞれについて1つ選ぶ） 表形式 < 1. 満足している／2. どちらかといえば満足している／3. どちらかといえば満足していない／4. 満足していない > ①お子さんへの個別の指導 ②小集団（グループ）での指導 ③お子さんの成長が見られるようになった ④担任の先生に支援内容を伝えてくれる ⑤教員が指導内容を具体的に教えてくれたり、家庭でできることを教えてくれる ※合理的配慮：障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）						
		4	★小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組についての評価	単一回答	小平市教育委員会の特別支援教育の推進や充実に向けた取組について、どの程度満足していますか。（それぞれについて1つ選ぶ） 表形式 < 1. 満足している／2. どちらかといえば満足している／3. どちらかといえば満足していない／4. 満足していない／5. 知らない・わからない > ①特別支援学級の数や指導内容 ②教員の障がいに関する専門性 ③学習補助員の配置人数 ④特別支援教室の指導時間数や指導内容 ⑤就学・転学相談での説明 ⑥小学校と中学校間での情報共有や連携							
		5	学校において行われている交流及び共同学習の取組内容について知っているか	単一回答	学校において行われている交流及び共同学習の取組内容について知っていますか。（1つ選ぶ） 1. 知っている 2. どちらかといえば知っている 3. どちらかといえば知らない 4. 知らない							

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目					特別支援学校の保護者	
					保護者			児童・生徒			⑤教員
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語		
		6	交流及び共同学習の取組について、学校からの情報発信は十分だと思いませんか	単一回答	交流及び共同学習の取組について、学校からの情報発信がされていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない					交流及び共同学習の取組について、あなたは保護者に対して情報発信ができていますか。（1つ選ぶ） 1. できていると思う 2. どちらかといえでばできていると思う 3. どちらかといえでばできていないと思う 4. できていないと思う	
		7	学校は、交流及び共同学習を通して、人間関係を築く力を育てる教育を進めているか	単一回答	学校は、交流及び共同学習を通して、人間関係を築く力を育てる教育を進めていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない					あなたは、交流及び共同学習を通して、人間関係を築く力を育てる教育ができていますか。（1つ選ぶ） 1. できていると思う 2. どちらかといえでばできていると思う 3. どちらかといえでばできていないと思う 4. できていないと思う	
		8	学校において行われている交流及び共同学習を通じて、子どもたちの特別支援教育や障害に対する理解が深まったか	単一回答	学校において行われている交流及び共同学習を通じて、 <u>学校全体における</u> 子どもたちの特別支援教育や障害に対する理解が深まったと思いませんか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない						
		9	学校において行われている副籍交流の取組内容について知っているか	単一回答	学校において行われている副籍交流の取組内容について知っていますか。（1つ選ぶ） 1. 知っている 2. どちらかといえでば知っている 3. どちらかといえでば知らない 4. 知らない						小平市立学校において行われている副籍交流の取組内容について知っていますか。（1つ選ぶ） 1. 知っている 2. どちらかといえでば知っている 3. どちらかといえでば知らない 4. 知らない
		10	副籍交流の取組について、学校からの情報発信は十分だと思いませんか	単一回答	副籍交流の取組について、学校からの情報発信されていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえでばそう思う 3. どちらかといえでばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない					副籍交流の取組について、あなたは保護者に対して情報発信ができていますか。（1つ選ぶ） 1. できていると思う 2. どちらかといえでばできていると思う 3. どちらかといえでばできていないと思う 4. できていないと思う	副籍交流の取組について、副籍を置く小平市立学校からの情報発信されていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえでばそう思う 3. どちらかといえでばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない
		11	学校は、副籍交流を通して、人間関係を築く力を育てる教育を進めているか	単一回答	学校は、副籍交流を通して、人間関係を築く力を育てる教育を進めていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえでばそう思う 3. どちらかといえでばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない					あなたは、副籍交流を通して、人間関係を築く力を育てる教育ができていますか。（1つ選ぶ） 1. できていると思う 2. どちらかといえでばできていると思う 3. どちらかといえでばできていないと思う 4. できていないと思う	小平市立学校は、副籍交流を通して、人間関係を築く力を育てる教育を進めていると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえでばそう思う 3. どちらかといえでばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない
		12	学校において行われている副籍交流を通じて、子どもたちの特別支援教育や障害に対する理解が深まったか	単一回答	学校において行われている副籍交流を通じて、お子さん【※東京都は『学校全体における子供たち』】の特別支援教育や障害に対する理解が深まったと思いませんか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえでばそう思う 3. どちらかといえでばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない						

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目						特別支援学校の保護者	
					保護者			児童・生徒				⑤教員
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級		
基本指針3	共生社会の実現に向けた教育について	13	交流及び共同学習を通じて互いを知ることができたと感じるか	単一回答					交流及び共同学習を通じて、お互いを知ることができたと思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない			
		14	通常級と特別支援学校・支援級の児童・生徒と一緒に学習や交流をした中で、印象に残っていること	複数回答					障がいのある子と一緒に学習や交流をした中で、印象に残っていることは何ですか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 授業での交流 2. 運動会や音楽会での交流 3. 移動教室での交流 4. 校外学習や遠足での交流 5. 給食での交流 6. 学校訪問での交流 7. その他（ ） 8. 特にない 9. わからない			
		15	副籍交流とはどのようなものか知っているか	単一回答					副籍交流とはどのようなものか知っていますか。（1つ選ぶ） 1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない 3. 知らない			

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目						特別支援学校の保護者	
					保護者			児童・生徒				⑤教員
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級		
		16	障がいのある子とない子が同じ教室で学ぶために必要だと思うことはなにか	複数回答	<p>【児童・生徒】【教員】障がいのある子とない子が同じ教室で学ぶために必要だと思うことは何だと思いますか。（あてはまるものすべて選ぶ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 様々な学ぶ機会を設ける 実際に障がいのある方との交流を充実させる その他（ ） 特にない わからない 							
		17	★「学校生活支援シート」を活用しているか	単一回答	「学校生活支援シート(※)」が活用されていると思いますか。（1つ選ぶ） ※学校生活支援シート：お子さんや保護者の希望を踏まえて、医療や相談窓口などの関係機関と連携して、乳幼児期から学校卒業後まで一貫性のある支援を行う長期的な基本計画です。						あなたは、「学校生活支援シート」を活用していますか。（1つ選ぶ）	
		18	「学校生活支援シート」の学校以外の機関への情報提供は十分行われていると感じるか	単一回答	学校以外の機関(※)に「学校生活支援シート」の情報共有が行われていると思いますか。（1つ選ぶ） ※学校以外の機関：医療機関、子ども家庭支援センターや教育相談室などの相談機関、放課後等デイサービスや学童クラブなど。						あなたは、保護者の同意があった場合に学校以外の機関(※)に「学校生活支援シート」の情報共有を行っていると思いますか。（1つ選ぶ） ※学校以外の機関：医療機関、子ども家庭支援センターや教育相談室などの相談機関、学童クラブなど。	
		19	★「個別指導計画」に基づいた指導や支援が行われていると感じるか	単一回答	「個別指導計画(※)」に基づいた指導や支援が行われていると思いますか。（1つ選ぶ） ※個別指導計画：学校生活支援シートを踏まえて、学校が作成する短期的な実行計画です。学校での学習面・生活面の指導目標や指導内容、方法等を具体的に計画し、指導・支援を行います。						あなたは、「個別指導計画」に基づいた指導や支援を行うことができていると思いますか。（1つ選ぶ）	
		20	「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の作成や活用について、保護者と学校間で十分に情報共有できていると感じるか	単一回答	「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の作成や活用について、保護者と学校との間で十分に情報共有できていると思いますか。（それぞれについて1つ選ぶ） 表形式<1. そう思う/2. どちらかといえばそう思う/3. どちらかといえばそう思わない/4. そう思わない/5. わからない> ①「学校生活支援シート」 ②「個別指導計画」						「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の作成や活用について、保護者と学校との間で十分に情報共有できていると感じますか。（それぞれについて1つ選ぶ） 表形式<1. そう思う/2. どちらかといえばそう思う/3. どちらかといえばそう思わない/4. そう思わない/5. わからない> ①「学校生活支援シート」 ②「個別指導計画」	

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目											
					保護者					児童・生徒					⑤教員	特別支援学校の保護者
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級						
基本指針1 基本指針2	学校での支援体制について	21	★「こげら就学支援シート」を活用しているか	単一回答	「こげら就学支援シート(※)」が活用されたと思いますか。（1つ選ぶ）（小学校の保護者の方のみご回答ください） ※こげら就学支援シート：小学校に入学する際に、家庭や幼稚園、保育園等におけるお子さんの様子や保育の様子、指導内容・方法の工夫や配慮などを小学校に引き継ぐための資料です。 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. 「こげら就学支援シート」を小学校へ提出していない 6. わからない										あなたは、「こげら就学支援シート」を活用していますか。（「こげら就学支援シート」が提出されている児童・生徒についてお答えください。）（1つ選ぶ） （小学校教員のみご回答ください） 1. 活用している 2. どちらかといえば活用している 3. どちらかといえば活用していない 4. 活用していない	
		22	読み書きに困難のある児童・生徒に対する指導が充実しているか	単一回答	読み書きに困難のある児童・生徒に対する指導が充実していると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない											
		23	読むこと、書くことが難しいか。そのことに対して、先生は自分に合った方法で教えてくれるか	単一回答						読んだり、書いたりすることが難しいと感じることがありますか。（1つ選ぶ） 1. いつも難しいと感じる 2. ときどき難しいと感じる 3. あまり難しいと感じることはない 4. 難しいと感じることはない 5. わからない （枝間）前問で「1. いつも難しいと感じる」または「2. ときどき難しいと感じる」を選んだ方にお聞きします。読んだり、書いたりすることができるように、先生はあなたに合った方法で教えてくれますか。（1つ選ぶ） 1. 教えてくれる 2. 教えてくれない						
		24	学校において、読み書きに困難のある児童・生徒に対する指導が充実しているか	単一回答											あなたは、読み書きに困難のある児童・生徒に対して十分な指導ができていますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. 読み書きに困難のある児童・生徒はいない	
		25	読み書きに困難がある児童・生徒にどのような配慮を行っているか	複数回答											あなたは、読み書きに困難がある児童・生徒にどのような配慮を行っていますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. ICT機器の活用 2. ワークシートの工夫（ルビを振る、拡大等） 3. 板書等の工夫 4. 時間設定の工夫 5. その他（ ） 6. 特に行っていない	
		26	学校において、合理的配慮の理解・啓発の推進、対応ができていますか	単一回答	学校において、合理的配慮の理解・啓発の推進、対応ができていますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない ※合理的配慮：障がいによる学校での学習面や生活面での困難さを解消するために、必要に応じて提供される個別の配慮や支援（学校の負担になり過ぎない範囲）										あなたは、合理的配慮の理解・啓発の推進、対応ができていますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない	

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目											
					保護者					児童・生徒					⑤教員	特別支援学校の保護者
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級						
		27	学校で生活する上で、助けてほしいことはあるか。そのことに対して、先生は対応してくれているか	単一回答								学校で学習や生活をする上で、配慮してほしいことがありますか。（1つ選ぶ） 1. ある 2. ない （校間）前問で「1. ある」を選んだ方にお聞きします。そのことに対して、先生は配慮してくれますか。（1つ選ぶ） 1. 助けてくれる（具体的に： ） 2. 助けてくれない				
		29	保護者や児童・生徒から合理的配慮の要望があったか	自由回答									[今年度/これまでに]、保護者や児童・生徒から合理的配慮の要望はありましたか。（1つ選ぶ） 1. あった 2. なかった			
		30	配慮した内容	自由回答									要望の内容と、そのことにご対応したのかについて、ご記入ください。			
		31	★ICT機器の拡充による学習支援ができてきているか	単一回答	ICT機器を活用した授業や学習支援が充実していると思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない											
		32	ICT機器を使った授業はわかりやすいか	単一回答								ICT機器を使った授業はわかりやすいと思いますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない				
		33	ICT機器の拡充によりどのような学習支援を行っているか	自由回答									ICT機器の拡充によりどのような学習支援を行っているか、ご記入ください。			
		34	特別支援教育を推進するにあたり、どのような研修が必要だと感じているか	複数回答									特別支援教育を推進するにあたり、どのような研修が必要だと感じていますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 障がい特性の知識習得について 2. 合理的配慮について 3. 「学校生活支援シート」や「個別指導計画」の作成・活用について 4. ICT機器の活用について 5. 交流及び共同学習の指導について 6. 副籍交流の指導について 7. 医療的ケアについて 8. 関係機関との連携について 9. その他（ ） 10. 特に必要性を感じていない			
		35	学校以外でこどもの居場所となっている場所はあるか	複数回答	学校以外で、お子さんの居場所となっている場所がありますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 自宅 2. 祖父母・親戚宅 3. こどもの友人宅 4. 放課後子ども教室 5. 学童クラブ 6. 放課後等デイサービス 7. 児童館や図書館、公民館などの施設 8. 塾や習い事の教室 9. 公園や自然の中で遊べる場所 10. オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど） 11. その他（ ） 12. わからない									学校以外で、お子さんの居場所となっている場所がありますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 自宅 2. 祖父母・親戚宅 3. こどもの友人宅 4. 放課後子ども教室 5. 放課後等デイサービス 6. 児童館や図書館、公民館などの施設 7. 塾や習い事の教室 8. 公園や自然の中で遊べる場所 9. オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど） 10. その他（ ） 11. わからない		

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目											
					保護者					児童・生徒					⑤教員	特別支援学校の保護者
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級						
基本指針1 基本指針2	学校と関係機関との連携について	36	放課後に自宅以外で過ごしている場所はあるか	複数回答								放課後、自宅以外にどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 祖父母・親戚の家 2. 友達の家 3. 放課後子ども教室 4. 学童クラブ 5. 放課後等デイサービス 6. 児童館や図書館、公民館などの施設 7. 塾や習い事の教室 8. 公園や自然の中で遊べる場所 9. オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど） 10. その他（ ）				
		37	★学校と関係機関での連携や情報共有が図られているか	単一回答	学校と関係機関（学童クラブ、医療機関、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園など）との情報共有ができていますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない							あなたは、学校と関係機関（学童クラブ、医療機関、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園など）との情報共有ができていますか。（1つ選ぶ） 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない				
		38	学校と関係機関で共有すべきと感じることはなにか	複数回答	学校と関係機関（学童クラブ、医療機関、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園など）で共有すべきだと思うことは何ですか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 学校生活支援シート 2. こげら就学支援シート 3. 日々の出来事やその対応方法など 4. その他（ ） 5. 特にない 6. わからない								学校と関係機関（学童クラブ、医療機関、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園など）で共有すべきだと思うことは何ですか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 学校生活支援シート 2. こげら就学支援シート 3. 日々の出来事やその対応方法など 4. その他（ ） 5. 特にない 6. わからない			
		39	どのような関係機関と連携しているか	複数回答									普段、どのような関係機関と連携していますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 就学前の保育・教育施設（幼稚園、保育園、認定こども園など） 2. 特別支援学校 3. 医療機関 4. 児童発達支援センター 5. 子ども家庭支援センター 6. 教育相談室 7. 放課後等デイサービス 8. 学童クラブ 9. その他（ ） 10. 特に連携していない			
		40	放課後等デイサービスとの連携や情報共有の頻度	単一回答									普段、放課後等デイサービスとの連携や情報共有はどのくらいの頻度で行っていますか。（1つ選ぶ） 1. 週に1回以上 2. 月に1～3回 3. 各学期に数回 4. 年に数回 5. 特にしていない			

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目							特別支援学校の保護者	
					保護者			児童・生徒					
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級	⑤教員		
		41	放課後等デイサービスとの連携や情報共有の方法	複数回答								(校間) 前問で「1.」～「4.」を選んだ方にお聞きします。放課後等デイサービスとの連携や情報共有はどのような方法で行っていますか。(あてはまるものすべて選ぶ) 1. 会議 2. 電話 3. メール 4. SNSやオンライン画面上 5. その他()	
		42	放課後等デイサービスと連携や情報共有する上での課題	複数回答								放課後等デイサービスと連携や情報共有する上で、どのような課題がありますか。(あてはまるものすべて選ぶ) 1. 時間の設定 2. 担当者の明確化 3. その他() 4. 特にない	
		43	児童発達支援センターの認知度 (※保護者へは「相談先について」の項目で質問する。)	単一回答								「児童発達支援センター」がどのようなところか知っていますか。(1つ選ぶ) 1. センター名もどのようなところなのか知っている 2. センター名は聞いたことがあるが、どのようなところなのかは知らない 3. 知らない	
		44	特別支援教育を推進するにあたり、学校と児童発達支援センターの関係に期待するものは何か。(※保護者へは「相談先について」の項目で質問する。)	複数回答								小平市の特別支援教育を推進するにあたり、学校と児童発達支援センターとの関係に期待するものはありますか。(あてはまるものすべて選ぶ) 1. 児童・生徒との支援にかかる情報共有 2. 連携・協力体制の構築 3. 不登校や行き渋りの児童・生徒の対応について 4. 発達障害や学習障害の啓発活動 5. その他() 6. 特にない	
		45	こどものことは誰に相談しているか	複数回答	お子さんのことで困っていることや悩んでいることがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべて選ぶ) 1. 家族 2. 友人や知人 3. 学校の先生 4. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 5. かかりつけの医師 6. 児童発達支援センター 7. 子ども家庭支援センター 8. 学童クラブの先生 9. 放課後等デイサービスの先生 10. 塾や習い事の先生 11. インターネットやSNSのサイト 12. その他() 13. 相談したいと思う人がいない 14. 誰かに相談しようと思わない								お子さんのことで困っていることや悩んでいることがあるとき、誰に相談しますか。(あてはまるものすべて選ぶ) 1. 家族 2. 友人や知人 3. 学校の先生 4. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 5. かかりつけの医師 6. 児童発達支援センター 7. 子ども家庭支援センター 8. 放課後等デイサービスの先生 9. 塾や習い事の先生 10. インターネットやSNSのサイト 11. その他() 12. 相談したいと思う人がいない 13. 誰かに相談しようと思わない
		46	保護者の相談先は十分であるか	単一回答	保護者の相談先は十分だと思いますか。(1つ選ぶ) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない								保護者の相談先は十分だと思いますか。(1つ選ぶ) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目									
					保護者			児童・生徒				⑤教員	特別支援学校の保護者	
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級				
基本指針3	相談先について	47	児童発達支援センターの認知度	単一回答	「児童発達支援センター」がどのようなところか知っていますか。（1つ選ぶ） 1. センター名もどのようなところなのかも知っている 2. センター名は聞いたことがあるが、どのようなところなのかは知らない 3. 知らない									「児童発達支援センター」がどのようなところか知っていますか。（1つ選ぶ） 1. センター名もどのようなところなのかも知っている 2. センター名は聞いたことがあるが、どのようなところなのかは知らない 3. 知らない
		48	児童発達支援センターで子どもの発達について相談してみたいと思うか。	複数回答	児童発達支援センターで、お子さんの発達について相談してみたいと思いますか。（1つ選ぶ） 1. 相談してみたいと思う 2. 相談してみたいと思わない 3. わからない									児童発達支援センターで、お子さんの発達について相談してみたいと思いますか。（1つ選ぶ） 1. 相談してみたいと思う 2. 相談してみたいと思わない 3. わからない
		49	特別支援教育を推進するにあたり、学校と児童発達支援センターの関係に期待するものは何か。	複数回答	小平市の特別支援教育を推進するにあたり、学校と児童発達支援センターとの関係に期待するものはありますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 児童・生徒との支援にかかる情報共有 2. 連携・協力体制の構築 3. 不登校や行き渋りの児童・生徒の対応について 4. 発達障害や学習障害の啓発活動 5. その他（ ） 6. 特にない									
		50	学校で困りごとがあったときに、誰に相談するか	複数回答				学校で困っていることや悩んでいることがあるとき、誰に相談しますか。（あてはまるものすべて選ぶ） 1. 家族 2. 友達 3. 学校の先生 4. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 5. 学童クラブの先生 6. 放課後等デイサービスの先生 7. 塾や習い事の先生 9. インターネットやSNSのサイト 11. その他（ ） 12. 相談したいと思う人がいない 13. 誰かに相談しようと思わない						

関連する第二期（前期）計画の基本指針 ※計画書P50、51ページより	テーマ	設問連番	設問項目（質問文については、わかりやすい表現となるように留意しながら、調査票作成時に文言を整理する。） ★印があるものについては、第二期（前期）計画策定時に行ったアンケート調査でも聴取した項目	回答形式	質問対象への設問と回答項目								
					保護者			児童・生徒				⑤教員	特別支援学校の保護者
					①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	③通常の学級	①特別支援学級	②特別支援教室・難聴言語	④通常の学級			
		51	指導方法について悩んだ場合、誰に相談しているか	複数回答								特別支援教育における指導方法について悩んだ場合、誰に相談していますか。 (あてはまるものすべて選ぶ) 1. 校長 2. 副校長 3. 主幹教諭 4. 生活指導主任 5. 学年主任 6. 養護教諭 7. 固定学級担任 8. 特別支援教室・通級担任 9. 同学年の教員 10. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー 11. 巡回相談員、巡回相談心理士 12. 特別支援コーディネーター 13. 特別支援教室専門員 14. その他（ ） 15. 相談したいと思う人がいない 16. 誰かに相談しようと思わない	
		52	自由意見	自由回答	小平市の特別支援教育に関して、ご意見などがあればご記入ください。								